



ゆたか

発行：白井市議会 編集：しろい議会だより編集会議 千葉県白井市復1123 ☎047(491)6164 FAX047(492)1629

令和5年11月15日発行（第163号）

大にぎわいだった ふるさとまつり 2023



友好交流協定を結んでいる福島県伊達市の皆さん
シャインマスカットなども完売（白井総合公園）



社会福祉協会のバザー（保健福祉センター）



ふるさとまつりでは消防署コーナーも大人気

議会活性化特別委員会を設置 議会改革を進めていきます

9月定例会

第3回定例会は、9月1日から10月11日まで41日間の会期で開きました。

今定例会には、条例の改正や補正予算など議案13件が提出され、すべて原案可決となりました。

また、議員から3件の発議案、発議案第2号に対する修正案1件が提出されました。

審議結果一覧については、4頁に掲載しています。

Point 1

高齢者等おむつ給付事業を保健福祉事業に変更する議案を賛成多数で可決

Point 2

北総線の車両1両丸ごと白井をPR

Point 3

子ども医療費助成金を3294万3千円増額します

決算審査特別委員会を設置

令和4年度決算を審査するため、9月12日に設置し9月定例会の中で4日間かけて審査を行いました。

審査の経過と結果については、3ページに掲載しています。

委員長	石井 恵子			
副委員長	長谷川則夫			
委員	伊藤 仁	田中 和八	小田川敦子	徳本 光香
	石原 淑行	久保田江美	石田 里美	



議会HP QRコード

《議案第3号》白井市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
《議案第6号》令和5年白井市介護保険特別会計保険事業勘定補正予算（第1号）について

Point 1
高齢者等紙おむつ給付事業を保健福祉事業に変更する議案を賛成多数で可決

政府の高齢者等紙おむつ給付事業廃止に伴い、一般会計による地域支援事業から介護保険特別会計による保健福祉事業に変更し給付事業を継続します。加えて支給開始月を4月から8月に変更し、事務手続きの簡素化を図るものです。

質疑意見など

Q 令和5年度白井市介護保険特別会計保険事業勘定補正予算にある紙おむつ給付事業の令和5年度から令和7年度にある債務負担行為の内訳は。
A 令和5年度がゼロ、令和6年度が12か月分で1452万9千円、令和7年度が4月から7月までの4か月分で484万3千円です。今回の債務負担行為は令和6年4月から令和7年7月までの紙おむつ給付としており、今回令和7年3月ではなく7月を終了期とした理由は紙おむつ給付対象者の要件として非課税であることがあり、課税対象外の人が発生し、救済措置を考えていないとの回答がありました。白井市が最低限の衛生環境を守る制度を維持すべきです。

Q 紙おむつ給付事業が地域支援事業から保健福祉事業に切り替わるにあたり、制度上該当しない人は何人いて、その該当条件は。
A 現時点で6人です。給付から除外される人は市外から白井市内のサービス付き高齢者住宅に住所を移した方となります。その方は元の住所地市町村の被保険者になります。
《議案第4号》令和5年度白井市一般会計補正予算（第7号）について

Point 2
北総線の車両1両丸ごと白井をPR

北総線の沿線6市と千葉県、北総鉄道がメンバーの北総沿線地域活性化協議会事業として、沿線市のPRをした広告ジャケットトレインを走らせます。

主な質疑

Q 鉄道交通推進事業の内容を伺います。
A 北総線沿線活性化協議会は、北総鉄道および沿線地域の活性化を図ることを目的に、まちづくりや地域の賑わいの創出などの事業を鉄道会社と沿線地域が連携して実施するために設置されています。負担金143万7千円は、車両の内装広告に千葉県や事業に参加する沿線市のPRを施すものです。
Q 昨年度との予算額の変更点を伺います。
A 前回は、外装にも広告をラッピングして行いましたが、協議会で車両の内装広告PRとし、外装広告がない分、事業費が抑えられています。

Point 3
子ども医療費助成金を3294万3千円増額します

白井市では市に住民登録があり、健康保険に加入している0歳から中学3年生を対象に、保険診療の自己負担分につき全部または一部を助成しています。助成を受けるには、受給資格の申請と登録が必要です。今回、支給額の増加が見込まれることから増額補正されました。

主な質疑

Q 当初予算1億2900万円強に対し、増額の割合が大きいのはどのような原因ですか。
A 令和5年4月から6月までの3か月間の実績の平均額で今後の支給額を計算すると不足が生じることとなります。理由としては、コロナ禍が終

動画視聴

発議案3件については、議会最終日の審議のため詳細は録画をご視聴ください。

議会本会議・委員会を発信しています

本会議のライブ発信・録画発信（委員会はライブ発信のみ）を行っています。
録画中継は、本会議終了後おおむね5日後（土、日、祝日除く）から見るができます。ぜひご視聴ください。

- 発信内容 定例会及び臨時会の本会議並びに委員会
- 注意 この議会中継は白井市議会の公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内のご利用についてを必ずご確認ください。

- アクセス方法
 - ①白井市ホームページ「白井市議会」をクリック。（議会だより表紙のQRコードからも視聴いただけます）
 - ②右側の「インターネット議会中継」をクリック。
 - ③議会映像配信から「生中継」「録画放送」が表示されますので視聴したいページを選択しご視聴ください。

※一般質問動画は議会だよりのQRコードから直接議員の動画を見ることができます。

スマートフォンで「議会だより」をご覧いただけます

白井市議会だよりを選択するといつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。

発議

現行の健康保険証存続を求める発議案は賛成少数で否決

《発議案第1号》現行の健康保険証存続を求める意見書について
国民の不安を払拭し、国民皆保険の下、誰もが必要な時に、必要な医療が受けられる体制堅持のためにシステムの総点検を行い令和6年秋に予定の健康保険証廃止を延期し、今の健康保険証存続を求めるものです。

◆意見書案の概要◆

デジタル化は日本にとって喫緊の課題であることは間違いありません。政府はマイナ保険証を持たない全ての人に「資格確認書」を発行し、マイナ保険証を保有していない全ての人を対象に交付する方針を掲げています。健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証存続を求めるものです。

発議

市議会議員の報酬を一律5万円引き上げる発議案は賛成全員で可決

《発議案第2号》白井市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
白井市報酬等審議会の答申をふまえ、昨年12月市長から提案された報酬改正の議案について、実施日を令和6年4月1日に改めて提案されました。議長報酬に関しては、5万円ではなく3万円増額の修正案が提出されましたが、賛成少数で否決となりました。

◆発議案の内容◆

議長（現行）39万円↓（変更後）44万円
副議長（現行）32万円↓（変更後）37万円
委員長（現行）31万円↓（変更後）36万円
議員（現行）30万円↓（変更後）35万円
一律5万円引き上げるものです。

《発議案第3号》福島第一原発によるアルプス処理水の海洋放出中止を求める意見書について

発議

アルプス処理水海洋放出中止を求める発議案は賛成少数で否決

アルプス処理水の海洋放出は、経産省が漁業者の理解なく処分しないという約束を破るもので、国際法違反の懸念、環境面、安全性など課題が多いため、理解が得られる別の方法をとるよう求める内容でした。

◆意見書案の概要◆

アルプス処理水は、原発事故を起こした原子炉のデブリに触れた汚染水を処理したもので、通常の原発のトリチウム水とは異なると主張。また、「海洋放出は」国際的な安全基準に合致する」とした国際原子力機関（IAEA）も、原子力利用を促進する機関で中立ではなく、政府の海洋放出を推奨してはいないとの報告を紹介しました。

令和4年度決算を認定

市民からの血税が的確に効果的に使われたか、決算審査特別委員会で審査しました。一般会計および各種特別会計（議案第10号）は賛成多数で認定。水道会計（議案第11号）は賛成多数、下水道会計（議案第12号）は全員賛成で認定しました。主な審査内容は以下の通りです。

総務企画

Q 外国人支援事業で、外国人市民へのアンケート結果から得たこと・事業実績・周知や支援は。

A 市内在住18歳以上の外国人市民全員の方1166人に、日本語や外国語翻訳のアンケートを作り発送しました。実績では、外国人市民が生活に困ることなく安心して市内で住めるよう、日本語教室、外国人相談、通訳・翻訳ボランティアと大きく3つの事業を展開しています。日本語教室では、毎週3回開催、参加人数は延べ513人でした。今後も周知・支援に努めていきます。

Q 情報集約・発信支援事業の「しろいまっち」は、イベントや観光の情報発信を行っている事業ですが、人や出店事業者が増えた等の効果と今後は。

A まち・ひと・しごと創生総合戦略で計画数値を持っており、サイト上で紹介したイベント数が令和4年度の実績としては68件まで伸び4.5倍増え、サイト上で情報発信をする団体、事業者の登録者数も1.1倍増。年間のレビュー数・アクセス数は、目標を上回る33.1万回の実績でした。また、令和5年度で協定が切れて交付金がなくなりますので、6年度以降は基本的な収入源は広告収入で自走で行っていただくことになります。



教育福祉

Q 暴力対策ネットワークの研修のテーマについて、どんなことを学ばれましたか。

A 「ヤングケアラーへの気づきと支援の在り方」の研修を実施。ヤングケアラーの定義、学校・市役所・地域の認識を深め、子ども自身が自分がヤングケアラーかもしれないという認識ができるようにすること等の周知・家庭児童相談室につなぐ・地域の目といった3つの要素が必要です。

Q 子育て世代包括支援センターの市民周知が課題でしたが、どのように改善しましたか。

A 市ホームページのトップに、子育て世代包括支援センターのコーナーを作り、妊娠期・出産期・子育て期に受けられるサポート等を分かり易く修正しました。また、子育て応援ナビというアプリで、プレマスクールの予約や、公園の位置の情報・子育てコーディネーターのコラムなどを見ることができるよう改良しました。

Q 公共施設等あり方検討事業の「文化センターのあり方検討委員会」設置・調査審議してきた3か年の成果をどのように総括していますか。

A 検討委員会は合計9回開催し、令和2年から3年では、検討に必要な基礎資料を提供し、調査・審議いただきました。令和4年度になり今後のあり方を議論をいただき、令和5年3月2日に提言書が委員長から教育長宛てに提出されました。提言書がまとまるまで3か年をかけて、慎重に調査・審議をいただいたと捉えております。

国民健康保険特別会計

Q 特定健康診査事業の令和4年度実施状況は。

A 受診対象者が1万270人、受診者が3914人、受診率が38.1%となります。受診者内訳は、集団健診が2574人、個別健診が892人です。また、費用助成も行っている人間ドックは、特定健診の検査項目を満たしており、検査結果を提供していただいた国保加入者438人もこの受診者数に含まれています。

Q 待機児童対策について、待機児童は令和4年度は3人。個々の事情で入れなかったのですか。

A 特別な支援が必要なお子さんで、入園のためには保育士の新たな確保が必要で、その状況が整えられなかったことによる待機児童です。

Q 補助教員配置事業について、個別支援員3名、日本語指導補助教員6名とありますが、バランスについてお聞きます。

A 日本語指導補助教員は、該当児童・生徒20名に対し、指導員6名で対応しています。国籍も様々で、どの子にもしっかりとした支援、対応が取れるようにすることが必要だと考え行っています。

介護保険特別会計保険事業

Q 介護保険特別会計の介護予防自主グループ支援事業の効果は。

A フレイル予防講座、しろい楽トレ体操等の事業実施が関係する予算です。新規立ち上げ団体は令和4年度に4団体です。

都市経済

Q 市道維持修繕事業の工事請負費について、市道13-007号線名内地先の道路法面改修工事、市道00-005号線河原子地先の雨水対策排水工事は、令和4年度中に着工・完成したのですか。工事金額はいくらですか。

A 名内地先の法面改修工事は、令和5年度に繰り越した工事です。河原子地先の排水整備工事は、最終的請負契約金額が3307万4800円となります。

Q 水質調査・地下水汚染対策事業でPFAS（ピーファス）が市内で出ていたと話題となっています。市の調査の対象ではないようですが把握は。

A PFASの測定調査は、千葉県で実施しており、環境白書等でも報告がされております。

Q 工業専用地域振興事業の令和4年度決算の検討内容は。

A 白井工業団地の就業環境改善・活性化を目的とした工業専用地域振興事業では、駅からの距離が遠く、公共交通機関が不十分であることや大型車の通行に制限があるという課題があり、企業バス停を設置しました。

Q 小学校区まちづくり協議会設立運営支援事業の効果は。

A 支部会と、まちづくり協議会に補助金を交付。コロナ禍で予定通りの活動ができなかった事業もありますが、小学校区で防災・防犯・環境など地区の課題解決や魅力づくりに向けた自主的な活動、市民主体の共助のまちづくり、活動が実施できました。

水道事業会計

Q 令和3年度と比較して、令和4年度の営業利益が減少した理由は。

A 令和3年度に比べ、使用水量が減少したことによって、営業収益が減少したと捉えています。

議案等審議結果一覧表

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ーは採決に不参加

		議案等番号	件名	付託 委員会名	審議 結果	各議員の賛否																			
						日本共産党		NewWave しろい	市民の声		面・しろい 活性化計画			しろい令和			つながろう・白井!	会派公明党			しろい未来	さわやか白井	議長		
						徳本	根本	平田	小田川	柴田	秋谷	広沢	久保田	伊藤	長谷川	古澤	荒井	石井	武藤	石原	田中	石田	岩田		
第3回定例会	市長提出のもの	議案第1号	教育委員会委員 久保利枝氏の任命	－	同意	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	－	
		議案第2号	固定資産評価審査委員会委員 山本久男氏の選任	－	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第3号	白井市介護保険条例の一部改正	教育福祉 常任委員会	原案 可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第4号	令和5年度白井市一般会計補正予算（第7号）	各常任 委員会	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第5号	令和5年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第1号）	教育福祉 常任委員会	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第6号	令和5年度白井市介護保険特別会計保険事業勘定補正予算（第1号）	教育福祉 常任委員会	原案 可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第7号	令和5年度白井市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	教育福祉 常任委員会	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第8号	令和5年度白井市水道事業会計補正予算（第1号）	都市経済 常任委員会	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第9号	令和5年度白井市下水道事業会計補正予算（第1号）	都市経済 常任委員会	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第10号	令和4年度白井市歳入歳出決算の認定	決算審査 特別委員会	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第11号	令和4年度白井市水道事業会計決算の認定	決算審査 特別委員会	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第12号	令和4年度白井市下水道事業会計決算の認定	決算審査 特別委員会	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		議案第13号	令和5年度白井市一般会計補正予算（第8号）	－	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	議員提出のもの	発議案第1号	現行の健康保険証の存続を求める意見書について	－	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	－	
		発議案第2号	白井市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	－	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		発議案第2号 に対する動議	発議案第2号 白井市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に対する修正動議	－	否決	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	－	
		発議案第3号	福島第一原発によるアルプス処理水の海洋放出中止を求める意見書について	－	否決	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	－	

視察報告

議会だより編集会議 令和5年8月9日

A I 議事録で市民へいち早く情報提供を

- この議会だよりは、議員自身が執筆し、印刷を業者に委託しています。以前からの課題として、文字起こしに2週間を要し、スケジュール上、議会最終日に行われる質疑や討論などを掲載できない問題があります。そこで、議会だより編集委員会では、いち早く市民に情報を提供するため、A I（人工知能）機能で議事録を作成するシステムの導入を考え、8月9日に、先進市である取手市議会を視察してきました。その視察内容を報告します。
- 取手市では、議事録の作成のための職員の連日の深夜作業の解決策として、平成18年からA I 議事録を導入しました。A I による文字の誤変換を避けるため、独自に議会の専門用語や役職名などを記憶した辞書を作り、年々完成度を高めています。
- 作業としては、マイクで拾った音声を機械が文字にすると同時に、職員が誤字を直し、その

- 日のうちに議事録を作成できています。作業に慣れると、職員の残業時間が激減したそうです。市民のみなさんに早く情報を届けるため、職員の方々が努力されているのが印象的でした。
- 経費は、録音から人が文字起こしするのとあまり変わらず、長期的には、逆に安くなる可能性もあるそうです。
 - A I 議事録の評価を尋ねると、職員の方が「メリットしかないです」と回答。議員の反応もよく、現在はさらに複数のアプリを試行し、聴覚障がい者用の字幕作成などを研究していました。
 - 白井市議会への助言で、即日完成でなくとも数日後の完成で可として作成期間を減らすことや、市議会だけでなく市役所全体で導入する方が、費用対効果は高いといった選択肢も見えました。
 - 視察に行った議員の感想は、「総合的に、中長期的に効率的でメリットは絶大」「各会派からも要望が出ており、全議員で導入を目指した

- い」「議員と執行部が連携して議会改革に一丸となり、イキイキと業務をこなす姿も勉強になった」「校正の仕事は障がい者の方の雇用拡大につながるのがいい」「字幕付きで傍聴や中継の視聴ができるといい」「早期に導入すべきと痛感」など、いずれも前向きなものでした。
- 議会だより編集委員会として、視察内容を全議員に共有し、A I 議事録導入の要望書を議長に提出し一任しました。今後の展開にご注目ください。



取手市役所

市政のここが知りたい

石田 里美議員

旧耐震分譲集合住宅の耐震診断の必要性



問 旧耐震分譲集合住宅の耐震化に関する検討は。

答 耐震化について、白井市耐震改修促進計画に基づき、市民に市の広報紙やホームページによる耐震化の必要性についての情報提供や、補助金制度による耐震診断の支援などの取組みを進め、補助金制度の活用を促すために、旧耐震集合住宅の管理組合に対して組合の状況を把握するためのアンケート調査を実施したところです。

問 いつ起こるか分からない大地震に備えた耐震診断は、特に4地区（大山口、清水口、堀込、南山）です。耐震診断を急ぐ必要性があら

ると考えます。命に関わる問題ですから、市はどのように考えていますか。

答 分譲集合住宅の管理組合が抱える耐震診断の実施への課題や、補助制度を踏まえ、耐震化を進めてまいりたいと考えております。



ますます増える空き家に対する市の対応は

問 令和5年6月14日空家等対策推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が公布され、今後の対応は。

答 新たに緊急代執行制度が創設され、特定空家等について、市は災害などの非常時に命令などの事前の手續きを経ずに緊急に除去などの措置を講じることができることとなったことから今後国から示される基本方針等を注視してまいります。

問 市民の方々から何年も防災上危険を感じる隣の家の空き家問題に市の対応について伺います。

答 苦情があつた空き家に対して必要に応じ所有者等へ適正管理を促す文書を送付する事などの対応が今回新たに位置づけられ、放置すれば特定空家等になるおそれのある管理不全空き家等については市による指導監督の対象となりました。

広沢 修司議員

新たな価値を創造するまちづくりのために



13人(27項目)の質問があり、その要約を掲載しました。詳細については、会議録をご覧ください。この文章は各議員が作成しています。

問 子育て・教育環境の充実を図るための取組みについて伺います。

答 地域全体で安心して子育てできる環境づくりや、未来を生き抜く力を育む教育等の充実への取組みを行っています。

問 企業誘致推進事業では取組みの中で、データセンターの立地を進めています。当面の目標を伺います。

答 次期計画、第6次総合計画前期基本計画の期間である令和12年度までに、行政手続まで進めることを区切りと考えています。

問 震災時等における避難所の収容人数を増やす取組みについて見解を伺います。

答 避難所に十分な収容能力がないことから、住んで

いる場所が安全な方については在宅避難を推奨しています。避難所に行くことは選択肢の1つであり、在宅避難の他に、親類、知人家や宿泊施設等への避難など、避難所以外の避難もあることを引き続き周知していきたいと考えています。

問 全国的にも課題となっている介護従事者不足の問題をどのように捉えているのかを伺います。

答 早急に対応すべき課題であると捉えており、市では介護人材確保のための就職フェアの開催や、介護職員初任者研修の受講費用の一部補助を行っています。また、介護人材確保定着支援会議を開催し、各事業所で効果のあつた取組みや今

根本 あつこ議員

学校給食無償化を



問 物価高騰の中、子育て世代の教育費にかかる負担は増えています。お金の心配なく学び子育てができる支援は、白井市への定住環境づくりの一つと考えます。学校給食法は、食を通じた子どもの心身の健全な発達をうたつていて、栄養教諭という教職員免許を有する者の配置をしています。給食は教育の一環だと思いがすが市長の考えは。

答 教育の一環だと認識しています。

問 教育の一環である給食は、憲法26条「義務教育はこれを無償にする」とありますが無償化の考えは。

答 昨年度より、第3子以降の学校給食費の無償化を実施しておりますが、学校給食費完全無償化につきましては、考えておりません。

問 無償化するには市の財政の何%位必要ですか。

答 1.33%位ではないかと見込んでいます。

問 学校給食無償化を行う自治体が増えている中、財政が豊かでない9町が実施しています。財政がないのは理由にならないのでは。

答 一番大事なのは財源だと思ふんです。私(市長)は、県や国が少子化対策の一環としてやるべきだと県や国に訴えています。



带状疱疹ワクチンの補助を

問 带状疱疹にかかっている人は全国で年間60万人と推定され、80才まで3人に1人が発症すると言われていいます。今年、带状疱疹ワクチン補助を行った自治体が3月に56自治体から7月に254自治体と4.5倍

も増加しました。白井市は、带状疱疹ワクチン補助をしますか。

答 带状疱疹のワクチン接種については現在、国において定期接種を検討中として取り上げられており、国の動向を注視していきます。

石井 恵子議員

高齢化が進むマンションや団地に安心して住み続けるため



問 分譲マンションは私有財産なのでそれぞれの管理組合等で管理していますが高齢化で不安がある中、市が積極的に関与するマンション管理適正化推進計画について伺います。

答 市がマンション管理適正化推進計画を策定することによりマンションの管理計画が一定の基準を満たす場合、市が認定することで管理組合による管理の適正

化に向けた自主的な取組みが推進されるほか、マンションの市場価値の上昇等のメリットがあり、周辺地域の良好な居住環境の維持向上にも寄与します。

問 今後の策定予定は。

答 分譲マンションの高齢化、居住者等の高齢化が進みマンションの適正管理を推進する必要があるためマンション管理適正化推進計画の策定を検討します。

障がい児者の相談体制を進めてほしい

問 障がい児者の相談業務の現状と課題について。

答 市役所や障害者支援センターで行っている相談はすべての障がい者を対象として基幹相談支援センターを設置し、障がいのある方に総合的な相談支援事業、地域の相談支援体制の強化施設や病院からの地域移行・地域定着の促進、権利擁護、虐待防止の取組みなどをを行います。令和7年4月に保健福祉センター1階に開設いたします。

問 障がい児者の相談業務の現状と課題について。

答 市役所や障害者支援センターで行っている相談はすべての障がい者を対象として基幹相談支援センターを設置し、障がいのある方に総合的な相談支援事業、地域の相談支援体制の強化施設や病院からの地域移行・地域定着の促進、権利擁護、虐待防止の取組みなどをを行います。令和7年4月に保健福祉センター1階に開設いたします。

相談窓口



久保田 江美議員

学校給食を活用した
市の横断的事業としての有機農業



問 いすみ市は、市の横断的事業として有機米を取り入れたオーガニック給食を実施しています。担当者によると、有機米の学校給食はどの自治体でもできるノウハウが確立されているとのこと。市の横断的「事業として」の有機農業の取組みについて、市としてどのように考えますか。

答 当市におきましては、現在給食用の主食用米についてはJA経由で仕入れて、給食用の全量を白井市産の主食用米で賄うことが難しい状況です。このことから、導入するに当たっては仕組みづくりを考える必要がありますので、この辺は調査研究をしてまいりたいと考えております。

問 日本の食の問題は待ったなしの状況にまで追い込まれています。全国で学校給食がオーガニックに変わっていくけば、日本が抱える食の問題、農業の問題、環境の問題、医療の問題、それら多くの難問に対し解決の糸口を示すことになる期待されています。このようなことから、一次産業に対する一市町村が担う責任というのも重くなっていると思います。市長の



荒井 靖行議員

通学路の安全対策を問う



問 187人の児童が通う西白井三丁目・四丁目から七次台小学校への通学路は狭く危険な道です。私も通学路を児童と歩きましたが、安全指導員が1人でした。

安全対策を説明ください。

答 シルバー人材センターへの委託・スクールセーフティスタッフを配置し、安全確保に努めております。

問 西白井3丁目と風間街道をつなぐ市道が未完成です。地権者さんと交渉していますか。

答 私もしすみ市の給食の事例は報道関係で承知しています。また、自分の中でも有機農業の農家の方と意見交換を何回かやったことがありまして、この中で給食等に提供できないかという話はしたのですが、なかなか量を確保することが難しいという意見がありました。ですから、まだまだ有機農業を全てに普及することは難しい課題がたくさんあります。しかし、今後の農業を考えた場合、生産力を上げていくとか、そういう技術革新が出てくれば農業の在り方の一つというふうに捉えていますので、今後の課題として捉えさせていただきます。思いいます。「食育について」も質問しました。

問 白井第一小学校・白井第二小学校児童のうち、106人が利用するスクールバスの費用は令和4年の2695万円、令和6年から令和10年の費用は2億4千万円。児童一人当たりそれぞれ26万円、45万円。高額ではありませんか。

答 用地買収は土地の権利情報などを確認しながら適切に対応してまいります。

問 命を守るという意味で偏りはないと考えています。未開通道路は地権者と接触を進めるよう指示します。

答 今年度との契約額と差があるのは承知していますが、妥当と判断しています。財源は殆どが一般財源です。バス代金の一人あたり負担額はいくらですか。

平田 新子議員
子ども達の放課後の
居場所の拡充を



問 両親が共に働く家庭が直面する放課後の子ども居場所に関する課題は多く、文科省と厚労省、教育と福祉の連携を、白井市ではどう図っていますか。

答 福祉と教育の連携は、常に必要と認識しています。子ども施策の推進に当たって、今後も連携・情報共有の意識を持って取り組んでいきます。

問 今後の放課後子ども教室について伺います。

答 令和11年度までに全ての小学校で学童保育と一体

収益を生む農地や企業誘致の
有効的土地利用を

田中 和八議員

問 市の農地は減少傾向。企業誘致の種地確保は模索中。両方のバランスは懸念されますが、今後、白井市を支えていくため、収益を生む有効的な土地利用は。有効的土地利用を検討するには、地権者がまとまり一団の用地となる必要があり、地権者の合意形成が課題だと捉えています。

問 土地が無いのが白井市の弱点。市のポテンシャルを最大限生かした用地有効

特別な支援を必要とする
児童・生徒の支援及び教育は



問 支援が必要な児童の保育園での受け入れの課題は。保育士不足が続く中、加配保育士の人件費が運営費を圧迫してしまうなどの理由から、受け入れが公立保育園に偏っていることも課題であり、対応として、特別な支援が必要な児童を受け入れる私立保育園への市独自の補助金の交付や、保育所と児童発達支援事業所を併設するインクルーシブ保育園の開設に協力する等により、私立保育園での受け入れを推進しています。

問 児童発達支援センターの新たな取組みは。

答 ①センター内に医療的ケア児等コーディネーターを配置し、相談を受ける他、支援のための協議を行って

問 卒業後の進学状況は。

答 進学先は、県立特別支援学校高等部、公立高等学校、私立高等学校で、卒業

徳本 光香議員

市民が求める市内公共交通の
利便性向上を



問 市内を走るバスについて市民から多い要望は。

答 ルートや行き先、ダイヤ、便数、ベンチ設置など待合環境に関して等です。

問 要望への対応予定は。

答 白井駅南口バス停にベンチと屋根を設置し、スマートフォンで運行状況を可視化するバスロケーションシステムを今年導入します。

問 日曜・祝日の運行は。

答 市役所の閉庁日で、マイカーが増え、利用者は平日に比べ少ないと考えます。

問 文化センターや公園のイベント時に運行しては。

答 考えておりません。

問 今のバスルートへの市民の意見聴取の予定は。

答 令和3年改正のルートの定着に努めており、今は見直しは考えていません。

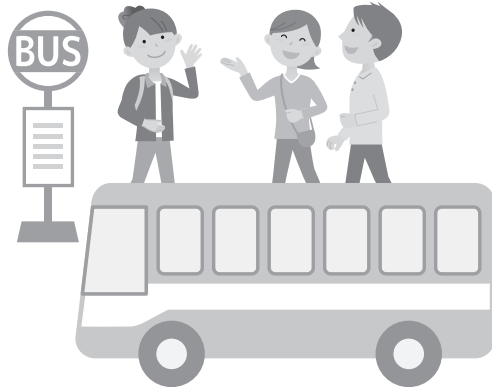
問 スマートフォンでナンバーの遅れが分かるバスロケーションシステムを導入予定ですが、私が駅前で行ったシール投票では欲しい人が3人、要らない人が24人でした。導入経緯は。

答 公共交通活性化協議会で優先事業としました。

問 市民アンケートでは遅れの状況を知らたいという意見はありません

後の就労を見据え職業教育に特化した特別支援学校の情報を幅広く提供し、高等学校に進学希望の生徒の学

力定着・支援の工夫をするなど、各中学校で入学時から個々の特性や学力に応じた進路指導を行っています。



武藤 美砂子議員

体育館にエアコン設置を



問 白井市の現状は。

答 体育館にエアコン設置する計画はありませんが、小中学校全ての普通教室・特別教室のエアコン整備は完了しました。

問 子供達の熱中症対策は。

答 体育館で活動する時は熱中症指数を確認し、この指数により児童生徒の活動内容の変更や中止をします。また、適時水分を補給し大型扇風機やスポットクーラーを活用しています。

带状疱疹ワクチン費用の助成を

問 带状疱疹患者の実態は。

答 国民健康保険加入者の限定ですが、令和元年度170人、令和2年度231人、令和3年度196人、令和4年度195人です。

問 带状疱疹の予防策は。

答 带状疱疹は、免疫力低下が原因と言われ、予防策として日頃の健康管理とワクチン接種があります。1回接種の生ワクチンの費用は6千円から8千円程度で予防効果は50％程度。持続



石原 淑行議員

高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けるための取組みは



問 白井市は少子高齢化が進む中、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、2040年には85歳以上の人口が最大になると言われています。白井市の介護予防と社会参加について伺います。

問 白井市の生活支援体制整備について伺います。

答 本事業は、世代を超えて支え合う地域づくりを進めるなど、多様なサービスを使いつつ、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けられる体制を整えるものです。

問 生活支援体制整備事業で、どのような対応事例がありますか。

答 対応事例としては、趣味活動を活かして交流や披露する場を希望する方々に対し、生活支援コーディネーターがサロン主催者などと調整をし、踊りや撮影した写真を披露するなど活躍できる場に繋いだり、スーパーで商品を見て買い物をしたいと希望する方には、移動スーパーの紹介や路線バス等に乗っていく方法を調べて提案するなど高齢者の意向により細やかに対応をしています。さらに、生活上の困りごとの相談が

多い地区においては、地域住民に働きかけ、生活支援

を行う団体の立ち上げ支援を行っております。

柴田 圭子議員

マイナンバーの運用、要注意



問 来秋までにマイナ保険証に切り替えていない人には資格確認書を発行するという政府の方針に対する市の考えは。

答 利便性の向上に資するものであり慎重かつ、円滑な運用に努めていきたいと考えます。

問 問合せや不具合の報告はありましたか。

答 顔認証ができなかったという意見とマイナンバーカードは任意のはずなのに紙の保険証廃止はおかしいという意見がありました。

問 マイナンバーカードにおいて懸念される事項は。

答 誤ったひも付けによる個人情報漏えいが想定されます。



まちづくり条例の検証を

問 地区まちづくり協議会の設置状況は。

答 調整区域にある事業候補地13区域中4地区で設置されています。地権者がまとまって設立、将来像を実現できる民間事業者を選定することとしています。

問 2029年の成田空港拡張を見据え、スピード感をもって企業誘致を進める必要があるのではないのでしょうか。

答 令和12年度までに行政手続きをと考えており、市

小田川 敦子議員

「子育て支援」の充実に向けた取組みは



問 子ども達が主体的に育ちの模索を行う事を「子育て」と呼び、それを支援する事を「子育て支援」と定義します。子育てを実現するための保護者や社会へのサポートが子育て支援であり、「子育て」を実現するその要が、子どもの貧困等から派生する格差の是正と言えます。私は、子ども達に直接届く形での子育て支援を行政が主体となり牽引していく事が課題と捉えています。子ども自身が自らの力で心身共に成長していくという事では、我々も同じように「子育て」の定義について捉えております。

問 子どもの居場所や体験機会等、子ども自身が主体的・一元的に情報を得る方法について、市の取組みは。

答 チャレンジHP、団体との連携等で行っており、今後は「しろいまっち」で子ども本人に情報提供ができる方法を検討していきます。

問 子育ての視点から、不登校児童・生徒への食育や学習機会の保障、体験活動へつなげる窓口としてもヤングハートの充実が必要で



教育福祉常任委員会（所管事務調査）

令和5年7月24日

- ① 清水口保育園
- ② 清水口小学校学童保育所
- ③ 障害者支援センター
- ④ ガーデンスクエア
- ⑤ アイアイナーサリー西白井

お子さんが利用でき、保護者の友達作りや子育ての相談など、交流の場となっています。

② 清水口小学校学童保育所

市は9つある学童保育所の運営を2つの事業者に委託しています。シダックスが4か所、アンフィニが5か所です。清水口学童保育所はシダックスが受けています。

清水口小学校の校舎内にありますが、希望者が多いため、学童用の部屋だけでは足りず、廊下続きの教室も学童用に使われていました。視察日は夏休みで、子どもたちはちょうど外で水遊びをしているところでした。元

気いっばいの子どもたちに、支援員さんは大わらわです。

③ 障害者支援センター

障害者支援センターは、生活介護事業所「きらり」、放課後等デイサービス「ビリーブ」相談支援事業所「座ぐり」が一つになった複合施設で、市の委託を受け社会福祉法人フラットが管理・運営をしています。きらりでは花を育て、野菜を作りそれを販売し地域共生を目指しています。ビリーブは小学校から高校までの子どもが通い、動作訓練や自立・社会参加促進のための療育を行っています。座ぐりは、障がいのある人からの相談事業です。

が通っている通所施設で、自立した生活を目指す共同生活援助を行う「ホームしろい」を併設しています。障害者支援センターと同じ事業者が運営しています。

④ ガーデンスクエア

アイアイナーサリーは生活介護事業所として、知的障がいや身体が障害のある方々

私立保育園です。園庭には目を引く大きくてカラフルな遊具が配置されています。希望者を対象に幼児教室も開催しており、公立保育園と全く異なる運営に驚きました。

⑤ アイアイナーサリー西白井

無農薬有機栽培米を給食に提供しています。令和5年度に5自治体と協定を締結。10自治体目標に米以外の農産物購入や農業体験などの連携を進めてゆく予定とのことでした。

②和歌山県田辺市の秋津野は新大阪より特急電車で約1時間20分の紀伊田辺駅からタクシーで15分です。

農業法人「きてら」について

「きてら」の意味はきてくださいで、平成11年に地域の有志31名の出資でつくられた「ソーシャルビジネス」です。温暖な気候を利用し、80種類以上のミカンを作付けすることにより、年間を通して収穫が可能となっています。営農指導組織からは、多種栽培は市場流通に向きで、栽培の効率が悪いと是正を受けながらもリスクの回避と労働力分散の栽培体制へ変えています。中古のプレハブ店舗で開始した事業は、加工施設併設・瓶詰めジュース販売などの事業にも出資を募り、事業を拡大しています。

明治9年に開校した取り壊し予定だった小学校を買い取り、レストランや宿泊施設を併設し活用しています。

委員会研修当日はこの施設に宿泊しました。



②清水口小学校学童保育所



①清水口保育園



⑤アイアイナーサリー西白井



④ガーデンスクエア

視察報告 都市経済常任委員会

令和5年10月16日～17日

【視察地・視察項目】

- ①大阪府泉大津市
- 1. アビリティタウン構想について
- 2. 新たなサプライチェーンの構築に向けた自治体間連携について
- ②和歌山県田辺市
- 農業法人「きてら」、秋津野について

①大阪府泉大津市は、新大阪駅から電車で約50分、関西国際空港の東に位置しています。

1. アビリティタウン構想について

身体及び認知機能や能力、技量、才能など広く健康を「アビリティ」と捉え、市民一人ひとりが「能力」、「技量」、「才能」を伸ばすとともに、泉大津市民としてまちへの愛着と誇りをもつシビックプライドの醸成を図り、

都市ブランドとしての「アビリティタウン」の実現を目指して3つの目標を掲げています。そのうち1つの「リビングラボ構想」を中心にお話いただきました。

リビングラボは、日々の生活や仕事の現場をリビングとし、研究開発の場をラボに見立て、多様な主体と協同してデータを分析したり、アイデアを創出しながら、新しい社会価値を生み出す場と定義しています。

令和3年度はコロナウイルス感染症の感染抑制・重症化予防・不安軽減資する事業など、令和4年度は新型コロナウイルス感染症及びコロナウイルスワクチンによる後遺症対応を実施しています。いずれの事業もアビリティタウン構想の基本である人間が本来持つ機能や能力の回復・維持・向上・改善を取り入れたプログラムとなっています。

2. 新たなサプライチェーンの構築に向けた自治体間連携について

市民の健康増進や食料危機の備え、農地が3%の泉大津市単独での食料確保が困難なことから、平時から他の自治体と連携して、給食用の農産物を購入し、健康増進を図り、食糧危機に活用できる仕組みを構築しています。令和3年より、担当者が生産者と直接交渉し、



①泉大津市役所



②農業法人「きてら」講師 木村則夫さん

議会活性化特別委員会を設置

今後の白井市議会のより良い改善を目的に、10月11日に設置しました。

委員長	長谷川則夫			
副委員長	小田川敦子			
委員	秋谷公臣	柴田圭子	古澤由紀子	石井恵子
	伊藤仁	田中和八	広沢修司	平田新子
	徳本光香	荒井靖行	石原淑行	久保田江美
	石田里美	武藤美砂子	根本敦子	



一般質問の様子（録画）を公開しています。

5～7ページ「市政のここが知りたい」の議員名下QRコードをスマートホンで読み取ると各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

編集後記

天高く馬肥える秋。すっかり秋らしく、空にはイワシ雲。彼岸花が、秋に彩りを添えています。

実りの秋。今年は米価が少し上がりましたが価格低迷が続いて、農家の方は泣いています。一方、私たち市民はというと物価高騰の中、お米があまり値上がりしないのは消費者として助かっています。しかし、このまま米価の低迷が続いたら、農家は後継者不足にならないか心配です。

現在「日本の自給率は38%」です。まったく心細い限りです。日本人の胃袋は外国頼りです。自国の食料は自国で賄いたいものです。

そして、スポーツの秋です。市内では、小中学校の運動会が行われました。一生懸命走る姿や低学年のかわいいダンス。「赤勝で」「白勝で」と一丸となった応援合戦は、運動会の花形です。「今しかない子ども時代」を精一杯過ごしている子どもたちに「頑張れ」と応援したいです。

議会だよりは、今回の号より各議員の一般質問の様子が動画で見られるQRコードを付けることになりました。今まではホームページから各議員を検索しなければなりませんでした。市民のみなさんに議会が、より身近になるよう編集委員

会は今後も工夫をしていきます。

（根本 敦子）